事業者募集

ひたちなか市民が誇れる お土産商品を一緒に作りませんか?

市民自らが自慢できる、事業者の想いが伝わる、商品開発をサポートします。

募集案内

ひたちなか市観光協会では、「市民自らが自慢できるお土産品」の 開発に関する支援を行っています。商品の課題を発見し、デザイン 思考で解決することで、市の特産品となる可能性があります。採択 された事業者の皆様には、デザイナーによる商品開発アドバイスを 提供し、開発にかかる費用の一部を補助します。地元を盛り上げたい 方のご応募、お待ちしております。



対象

ひたちなか市内に主たる事業所を有し、事業を営む企業や団体等。他、要件は募集要項の通り。

事業概要

ひたちなか市のお土産商品について、包装資材(付随する販促品等も含む)の「デザイン」に関する磨き上げを行う場合、経費のうちデザイン費35万円(補助率2/3以内)まで、初回製造費10万円(補助率2/3以内)までの費用を補助。他、詳細は募集要項の通り。

事業の流れ

過去の様子







- 1 申請(6月27日まで)
- 2 選定委員会(7月上旬)-
- 3 決定通知送付(7月中旬)
- 4 開発支援開始(7月下旬)
- 5 広報用写真撮影
- 6 完成品報告会兼交流会(令和7年1~2月予定)
- 7 展示即売会 -
- 8 補助金請求手続き

※②・⑥は必ずご参加ください。
※令和7年3月末までに全事業を終了する予定です。

事前に頂いたエントリーシートおよび 当日のプレゼンテーションをもとに 選定委員が事業者を決定します。

商品の展示・販売など、 販促活動支援を行います。

[過去実績]

- ・エクセルみなみ(水戸の梅まつりの時期)
- ・ヨークベニマルひたちなか店(3月)
- ・IBARAKIsense (2~3月)
- ・国営ひたち海浜公園(秋)
- ・JR 勝田駅
- ・メトロミニッツシークレットベース(築地)
- ・ジョイフル本田ニューポートひたちなか店
- ・大洗春まつり海楽フェスタ 2023
- ・ひたちなか市役所内特設コーナー
- ・那珂湊おさかな市場 等

問い合わせ先

ひたちなか市お土産品開発事業事務局 〒312-8501 茨城県ひたちなか市東石川2丁目10番1号 担当:中村 TEL:029-273-0111(内線1347) FAX:029-276-3072

常設販売場所もできました!

- ・いそざき温泉 ホテルニュー白亜紀
- · JA 常陸長砂直売所





ひたちなか市お土産プロジェクトとは

プロジェクトの詳細はWEBをご覧ください



茨城県の県央地域に位置するひたちなか市は、海のそばで感じる潮風や畑を駆け抜ける風、勝田全国マラソンでランナーが風を切って走り抜ける姿など、様々なかたちで "風" を感じることができます。2021年、ひたちなか市の未来をつくる波動の一つとして、市民が誇らしく思うお土産を開発するプロジェクトが立ち上がりました。呼びかけに集まった市内の事業者と、県内の腕の立つデザイナーがタッグを組み、初年度は8つ、2年目は5つ、3年目は6つの商品が完成しました。

プロジェクトのコンセプト

各生産者の技術や商品開発の想いとひたちなか市の魅力を掛け合わせ、 ひたちなか市の風土や生活文化が感じられ、 ひたちなか市民自らが自慢できる、 新たな価値を持つお土産商品を開発します。

●プロジェクト要約

お土産品開発事業は、事業者から応募があった商品に対し、ひたちなか市の独自性を高めるための開発を行うプロジェクトです。経験豊富なデザイナーとともに、商品が持つ魅力を引き出し、デザイン思考によって課題を発見・解決することで、二人三脚で開発します。できあがったお土産を通じて、ひたちなか市の価値を多くの人に知ってもらえるようにすることを目指します。

●特長

- ・商品開発支援の経験豊富なデザイナーによる商品開発アドバイスを受けることができます。
- ・商品の価値を再定義し、ひたちなか市らしさと融合させ、お土産としてのブランディングを強化できます。
- ・報告会等を通じて、他事業者との交流や、意見交換を行うことができます。
- ・パッケージ制作支援だけでなく、事業全体のPRや販売活動を通じて、事務局が販促支援を継続的に行います。

●過去参加事業者

〈令和3年度〉

わたなべ製麺所、わくわくビーファーム、大喜や、大倉商事、ニチノウ飛田、二川農園、グレートリーフ、長寿荘 ' 今和 4 年度 \

住谷公商店、お菓子のきくち、桔梗屋本舗、樫村水産、大丸物産

〈令和5年度〉

永井農芸センター、ヨ印水産、POTATO LABO、常陸農業協同組合、阪場製菓、味の園 杉の木

磨き上げ例 「那珂湊焼きそば」

Before



製造事業者:有限会社わたなべ製麺所 デザイナー:株式会社文化メディアワークス

After



那珂湊で長年愛されているご当地焼きそば。表面には製法の特長である釜とせいろをモチーフとしたイラストを掲載し、海に近いその土地柄を想起させる青色のパッケージに一新した。以前に増して独自性を高めたことで、取引先・販売数の増加に繋がった。